

注

- 1) 吉田暁史. 整理技術研究グループ史: 35周年以降の15年間を中心に. p.9-35.  
←これは情組研になる前の整研時代の実に多様な研究活動が紹介されていて興味深い
- 2) 田窪直規. 即戦力にならない司書を!. みんなの図書館. 1988, 139, p16-27.
- 3) 川村敬一. サブジェクト・インディケーション: 主題表示におけるエリック・コーツの寄与. 日外アソシエーツ, 1988, 283p.  
なお、下記も川村氏の出色の著作  
川村敬一著; 主題文献精読会編集. 主題検索の現状理解と今後の方向性について: 1957年のドーキング会議に参加した分類学者たちが指示したこと. 樹村房, 2020, 84p.
- 4) ジャック・ミルズ著; 田窪直規著, 監訳, 訳, 編; 吉田暁史著, 監訳; 柏田雅明ほか訳. 資料分類法の基礎理論. 日外アソシエーツ. 1997, 309p.
- 5) 田窪直規. 資料分類の基礎構造: 座標系モデルとコードを軸とした試論. 整理技術研究. 1991, 28, p.9-30.
- 6) 田窪直規. 図書館情報学分野の分類法: その20世紀を振り返り、21世紀を展望する. 論集・図書館情報学の歩み. 2001, 20, p.142-170.
- 7) 田窪直規. メディア概念から図書館情報システムと博物館情報システムを解読する. 人文学と情報処理, 1994, 4, p.9-15.
- 8) 田窪直規. メディア概念から文書館情報システムを解読する. 人文学と情報処理, 1999, 22, p58-63.  
田窪直規. 国際標準記録史料記述標準: ISAD(G): その基本構造・考え方と問題点. レコード・マネジメント, 2002, 44, p.1-22.

- 9) 田窪直規. 情報メディアの構造化記述に就いて：その基礎的視点. 図書館情報大学提出, 2004, 189p.

なお、以下の比較的短くて読みやすいものもある。

田窪直規. 情報メディアをとらえる視点: 図書館メディア, 博物館メディア, 文書館メディア等, 多様な情報メディアの統合的構造化記述のための. 慶応義塾大学アート・センター/ ブックレット, 2001, 03, p.16-31.

- 10) 田窪直規. 美術作品の情報管理: 図書館の場合と博物館の場合. 現代の図書館. 1990, 28(4), p.224-232. ←台湾で翻訳される

嘉数周子. 田窪直規ほか. 展覧会目録の情報管理. アート・ドキュメンテーション研究. 1992, 1, p20-35.

田窪直規ほか. 作品情報管理の基礎：アベルーセダンの所説を通じて. アート・ドキュメンテーション研究. 2, 1992, p.18-26.

←輪読会の成果

Abell-Seddon, Brian. Museum Catalogues : Foundation for Computer

Processing. C. Bingley. 1988, 2224p.

田窪直規. 韓国国立中央博物館の館藏品管理システムについて. 文部省科学研究補助金 (国際学術研究) 課題番号 02044163 日韓両国に所在する韓国仏教美術の共同調査研究 研究成果報告書. 1993, p.167-174.

田窪直規. 美術史研究写真の情報管理について：奈良国立博物館仏教美術資料研究センターの実践と情報管理論の基本問題. 情報管理, 1994, 37(5), p.393-406.

ホルム, S.A 著; 田窪直規監訳・監修. 博物館ドキュメンテーション入門. 勁草書房, 1997, 156p.

←ただし、刊行は近大時代

- 11) 田窪直規. 学問 (科学) 分野の分類. 阪南論集 人文・自然科学編. 1993, 29(1), p.101-120.
- 田窪直規. 社会学の分類: トップダウン指向とボトムアップ指向. 阪南論集 社会科学編. 1994, 29(4), p.101-126.
- 田窪直規. 博物学の分類. 阪南論集 人文・自然科学編. 1994, 30(2), p.35-45.
- 吉田政幸. 分類学からの出発: プラトンからコンピュータへ. 中公新書. 1993, 200p.
- 12) 田窪直規他. 資料組織概説. 3訂版, 樹村房, 2007, 199p.
- 田窪直規他. 情報資源組織論. 樹村房, 2011, 209p
- ←改訂, 2016, 201p ; 三訂, 2020, 231p
- ←その他、これらの演習編も
- 13) 田窪直規. 国際博物館会議国際ドキュメンテーション委員会の概念参照モデル CRM について: その概要と評価. アート・ドキュメンテーション研究, 2003, 10, p.20-36.
- 田窪直規. 「博物館資料情報のための国際指針」について: 図書館資料と文書館資料の国際記述標準との関係で. アート・ドキュメンテーション研究, 2003, 10, p.37-49.
- 14) 田窪直規. 博物館情報学と図書館情報学の比較: 情報資源, 目録・カタログにも注目して. 水嶋英治, 田窪直規編. ミュージアムの情報資源と目録・カタログ. 樹村房, 2017, p48-87.
- 15) 田窪直規. 電子図書館から電子メディア空間へ、そしてその意味するところ. 人文学と情報処理, 1995, 9, p.23-30
- Kubota Akihiro; Takubo Naoki. The Internet and the Digital Library Environment. Proceedings of the International Conference on Digital Libraries and Information Services for The 21st Century, September 10~13, Seoul. 1996, p.205-210.

- 16) 田窪直規. MLA 連携の動向とこの連携を捉える 3 つの視点: 日本の現状と課題. 水谷長志編. MLA 連携の現状・課題・将来, 勉誠出版, 2010, p.87-91.
- 田窪直規. 博物館・図書館・文書館の連携, いわゆる MLA 連携について. 図書館情報学のフロンティア, 2010, 10, p.1-22.
- 17) 田窪直規. 文書館、図書館、博物館の世界の記述について. アーカイブズ研究, 2016, 25, p.91-98.
- 田窪直規. MLA 資料データの標準類と MLA 連携. レコード・マネジメント, 2023, 66, p.66-74
- 18) 田窪直規. 書誌情報とその標準化. 図書館界. 2001, 53(3), p.364-376.
- 19) 田窪直規. 主記入、記述独立、記述目録法-主題目録法という図式への疑問: 目録法研究の再構築を目指して. 整理技術研究グループ 50 周年記念論集, 2007, p.61-74.
- 20) 田窪直規. オントロジーとファセット分類法. TP&D フォーラムシリーズ: 整理技術・情報管理等研究論集, 2010, 19, p5-31.
- 21) 田窪直規. LOD 時代の書誌コントロール: 英語文献調査: 2011-2013 上期. 日本図書館研究会情報組織化研究グループ. 2015.5, 於: 大阪市民交流センターなにわ, <https://josoken.digick.jp/meeting/2015/201505.html>.
- 田窪直規. LOD 時代の書誌コントロール: 英語文献調査: 2013 下期-2014 末. 日本図書館研究会情報組織化研究グループ. 2015.7, 於: 大阪市民交流センターなにわ, <https://josoken.digick.jp/meeting/2015/201507.html>.
- 22) 田窪直規. 知識を探す仕組み: 書誌情報. 逸村裕, 田窪直規, 原田隆史編. 図書館情報学を学ぶ人のために. 世界思想社, 2017, 156-167p.
- 23) 田窪直規. 索引構造と情報組織化 (研究) の隘路. 図書館界. 2013, 65(3), 200-210p.
- 田窪直規. 目録法の概念について. 図書館界. 2018, 70(3), 476-484p.

24) 日本図書館情報学会編. 図書館情報学事典. 丸善, 2023, 754p.

田窪直規. 博物館学, p.62-63.

田窪直規. 博物館の報組織化. p.192-193.

田窪直規. 文書館の情報組織化. p.194-195.